

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	32° 59' 23.00"	
				経度	132° 41' 06.00"	
長尾橋 (フリガナ)ナガオバシ	大城山線	宿毛市山北字大城山～宿毛市山北字大城山				
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
宿毛市	2017.6.6	河川	有	一般道	その他	

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)

点検者				(有)伸栄土木コンサルタント		点検責任者		下村 佳史	
点検時に記録				措置後に記録					
部材名		判定区分 (I～IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)	備考(写真番号、位置等が分かるように記載)		措置後の判定区分		措置及び判定実施年月日	
上部構造	主桁	III	腐食	径間1 主桁 01 写真1・径間2 主桁 01 写真2					
	横桁	II	腐食	径間1 横桁 02 写真3・径間1 横桁 03 写真4					
	床版	II	ひびわれ・剥離・鉄筋露出	径間1 床版 01 写真5、6					
下部構造		II	剥離・鉄筋露出	径間1 下部工 01 写真7					
支承部		II	腐食	径間2 支承 202 写真8					
その他		I							

道路橋毎の健全性の診断(判定区分I～IV)

点検時に記録		措置後に記録	
(判定区分) III	(所見等) 主桁に全体的な腐食、部分的な板厚減少が見られる。 塗装塗替え工等を行う必要がある。	(再判定区分)	(再判定実施年月日)

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>起点側</p>  <p>終点側</p> </div> </div>
1975年	30m	3.0m	

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真(損傷状況)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

上部構造(主桁)【判定区分: Ⅲ】	上部構造(主桁)【判定区分: Ⅲ】
<p>写真1</p>  <p>径間1主桁01腐食</p>	<p>写真2</p>  <p>径間2主桁01腐食</p>
上部構造(横桁)【判定区分: Ⅱ】	上部構造(横桁)【判定区分: Ⅱ】
<p>写真3</p>  <p>径間1横桁02腐食</p>	<p>写真4</p>  <p>径間1横桁03腐食</p>



状況写真(損傷状況)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真に記載のこと。

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

<p style="text-align: center;">上部構造(床版)【判定区分: Ⅱ】</p> <p>写真5</p>  <p style="text-align: center;">径間1 上部構造(床版)01 ひびわれ</p>	<p style="text-align: center;">上部構造(床版)【判定区分: Ⅱ】</p> <p>写真6</p>  <p style="text-align: center;">径間1 上部構造(床版)01 剥離・鉄筋露出</p>
<p style="text-align: center;">下部構造【判定区分: Ⅱ】</p> <p>写真7</p>  <p style="text-align: center;">径間1 下部構造01 剥離・鉄筋露出</p>	<p style="text-align: center;">支承部【判定区分: Ⅱ】</p> <p>写真8</p>  <p style="text-align: center;">径間2 支承202 腐食</p>